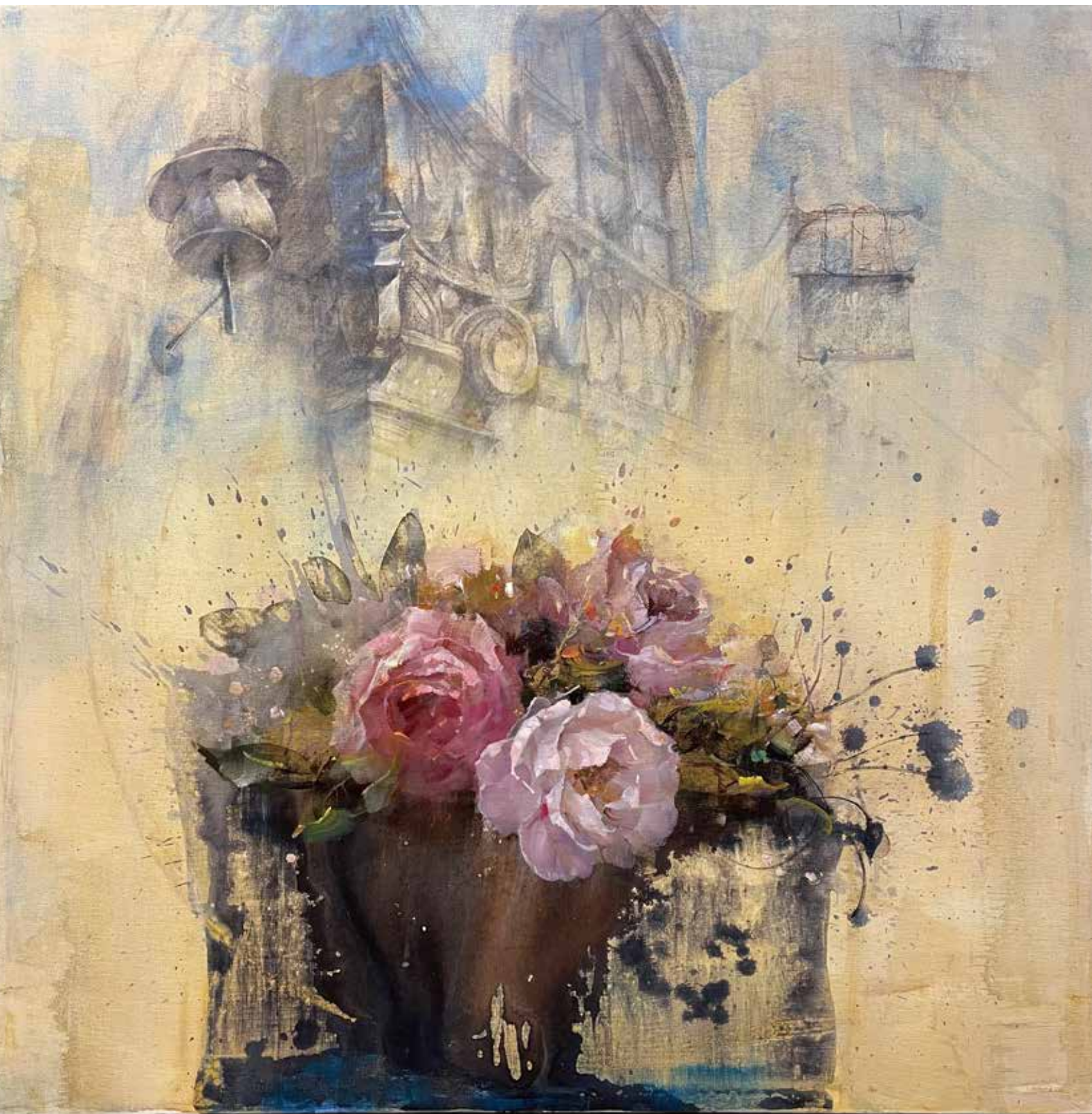


Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.48 2024 年 10 月

No.
48
秋号



表紙：蔡國華「贊歌」

... information ...



スロバキア だより



首都ブラチスラバにある日本大使館では毎年春に日本語のスピーチコンテストを開催しています。

今年も日本語を始めたばかりの初心者から学習歴10年の上級者まで多くの参加者が日本の文化についてや、日本での体験などを熱く流暢な日本語で語りました。

日本のアニメや漫画をきっかけに日本語を始める人が多いように思われますが、日本食や着物、将棋など文化そのものに強く惹かれて学び始めたという人たちもいます。

言語を習得することでより日本を近くに感じるようになった、という言葉が印象的でした。

クリロンワークショップ 小西 由夏

デザイン：加藤 麻依子（クリロンワークショップ）

kurilon クリロン化成株式会社
kurilon.co.jp



KURILON Work Shop
kurilon.co.jp/management/communication



画空間 Art Space
a-kukan.com



My空間 Studio
a-kukan.com/mykukan



クリロンワークショップ
伊久美
kurilon-ws.com/ikumi



第14回 新製品説明会

この度は、第14回新製品説明会に沢山の皆様にお越しいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

今回の新製品説明会は、7年ぶりの開催となりましたが、この7年間、多くの変化が起こりました。

最も大きな変化は、会社内での世代継承が進み、新しいクリロン化成に脱皮していったことを、第三の創業を掲げ、歩み始めたことです。

具体的には、創業以来の皆様方のご縁、ここ30年、共押出しの専業メーカーとして培った技術、世代や部門を超えて力を合わせ、新しい事にチャレンジする組織文化といった、クリロンの歩んだ歴史の上に、私達ならではの未来を切り拓いて行くことです。



こうしたタイミングでの新製品説明会でしたので、今まで同様にクリロン化成への期待と信頼を持っていたが、今まで以上に、楽しみだ！一緒にやっという感じに感じていたが、共に力強い第一歩を踏み出せるような記念すべき会にしたいとの想いを持ち、新製品を磨きながら、会の構成や内容の検討を重ねていきました。

そして、当日は、独自技術による、特徴ある共押出し新製品はもちろん、新たな印刷技術やラミネート技術との融合により生まれた、差別的な複合フィルムを含め、多数の新製品・新サービスの紹介を致しました。また、クリロン化成を長く見守り、多大な支援をいただいている、有田俊雄氏、住本充弘氏、石川雅紀氏の三氏に登壇いただき、包装業界全体の変化を私達の仕事に紐づけてお話いただくと共に、次世代への熱いメッセージを頂戴しました。

続く懇親会では、和気あいあいとした雰囲気の中、新製品に触れていただきながら、様々な意見を交わしました。

終わってみると、あつという間でしたが、皆の想いが重なる様な感覚を味わうことができました。

そして、今回発表の新製品が確かな変化を生み、新たな新製品が揃った頃、第15回新製品説明会を開催したいと思えます。第15回が早期に開催できますよう、是非、企業の枠を超え、力を合わせ、私達ならではの未来を切り拓いて参りましょう！

代表取締役社長 栗原 和志

蔡國華展 —凝—

画空間では7月10日から18日まで蔡國華展「凝」が開催されました。

人物ドローイング作品は圧巻の53点を壁一面にレイアウトし今までにない迫力の展示となりました。

また、シドニーを描いた街の風景の油彩小品や今回初展示となる古い作品も多数展示されました。

今回の展示で特に目を引いたのが使われた画板(木製の板)に騙し絵の様な手法で描かれた新作でした。ゴッホへのオマージュも感じさせながら遊び心のある蔡氏独特の世界に、多くの来場者が足を止めて見入っていました。

蔡氏が連日在廊していたこともあり、賑やかな9日間となりました。

クリロンワークショップ 近 ゆうみ



展示会の様子は
こちらから↓



△ 画板に騙し絵の手法で描かれた作品
「Homage (450×600mm)」

異なるアートの交差 「森光子氏×花岡美緒氏 トークイベント」

画空間では、7月29日から8月4日に「森光子作品展」が行われ、森さんの現在の創作活動を目の当たりにできる空間が設けられました。

最終日にはアーティストでコーディネーターの花岡美緒さんと森さんのトークイベントが開催。世代も活動するアートの領域も異なる二人を繋ぐのは、パリという土地です。パリの話をはじめ、留学生活や森さんが続けてきた挑戦についてなど、様々な話が展開されました。

トーク終了後も参加者からの質問が続き、イベントの枠を超えて、交流が生まれる素敵な時間になっていました。

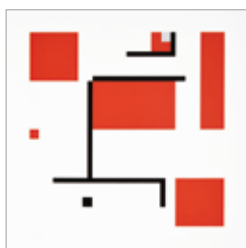
クリロンワークショップ 中野 香澄



展示会の様子は
こちらから→



△ トークイベントの様子



△ コンポジション 赤と黒

2024年5月10日の大阪会場を皮切りに、名古屋、札幌、福岡、東京と全国5会場7年ぶりとなる新製品説明会を開催しました。

「複合フィルムのプロティアメーカー」を大テーマに、参加者の皆さまに共押出し技術の可能性を感じてもらおうこと、そして当社の未来に期待して共に歩んでいただけることを目指した本説明会では、包装業界における基調講演と寸劇を交えた新製品発表を行い、その後実際の製品に直接触れて体感していただきました。

多くの皆様にご参加いただいた懇親会では、会場に展示された新製品をもとに会話が弾み、あちこちで社員が自信をもって新製品をアピールしている姿も見られました。



△ 寸劇を交えた新製品発表の様子

当日会場にいない社員も含めて、全社員で「協働」し創り上げていく新製品説明会は、当社の個性・製品・価値を知っていただく機会です。

開催にあたっては、事前に営業や技術、製造、事務、加工所などあらゆる部門から新製品に関わる社員が集結して5回にわたる合宿を実施、7年前の新製品説明会を知らない社員も多いため、一丸となって準備を進めてきました。

実際に参加いただいた方からは、「社員の皆さんが会の開催に全力で取り組まれていることが伝わりました」「新製品の特徴がよく理解できただけでなく、社員の熱意に感銘を受けました」など温かい言葉をいただきました。

マーケットへ新しい風を吹き込めるよう、クリロン化成は共押出しの技術をベースとして、皆さまへの感謝と共に一歩を踏み出しこれからもますます成長していきたいと思えます。

新製品説明会特別委員会



△ 取締役会長 栗原 清一



My 空間では、8月6日にスロバキアの伝統模様をランチョマットにステンシルするわくわくアトリエが開催されました。

絵の具のつけ加減は少しコツが要りますが、回を重ねるごとに絵の具の量や付け方の塩梅が

よくなり、濃淡、色のグラデーションをつけたり、逆に単色のみで作成してみたりとおのこの個性あふれる素敵な作品が並びました。

親御さんもお参加くださり、大人も子どもも夢中になるイベントとなりました。

クリロンワークショップ 大塚 寿枝



△ ステンシルのシートを剥がすわくわくの瞬間